

Japan Beverage

Japan Beverage Report 2017



人に、街に、地球にうるおいを

Japan Beverage Report 2017

C O N T E N T S

- 01 編集方針
- 02 ジャパンビバレッジグループの概要
- 03 トップメッセージ
- 05 ジャパンビバレッジグループの事業紹介

07 特集1・・・お客様にうるおいを

業界「いちばん」のサービスで
お客様に「もっと」満足いただけるように努めます

11 特集2・・・循環型社会にうるおいを

飲料空容器は「きちんと」回収され
資源に生まれかわっています

13 特集3・・・地域社会にうるおいを

「やさしさ」を持って地域社会を豊かにします

15 特集4・・・従業員にうるおいを

「あなた」を大切に魅力ある職場をつくります

16 環境マネジメント&パフォーマンス報告

18 第三者意見

編集方針

本レポートは、ジャパンビバレッジグループの理念と事業の現状、および環境の取組みを紹介する会社案内と環境報告書の役割を果たします。ステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えすることを目的に発行しています。

- 参考ガイドライン
環境報告ガイドライン2012年版
- 報告対象範囲
ジャパンビバレッジグループ
※環境報告データの対象範囲が異なる場合は、範囲を別途記載しています。
- 報告対象期間
2016年1月1日～2016年12月31日
※一部、対象期間外の取組みも紹介しています。
- 発行
2017年5月(次回2018年5月予定)

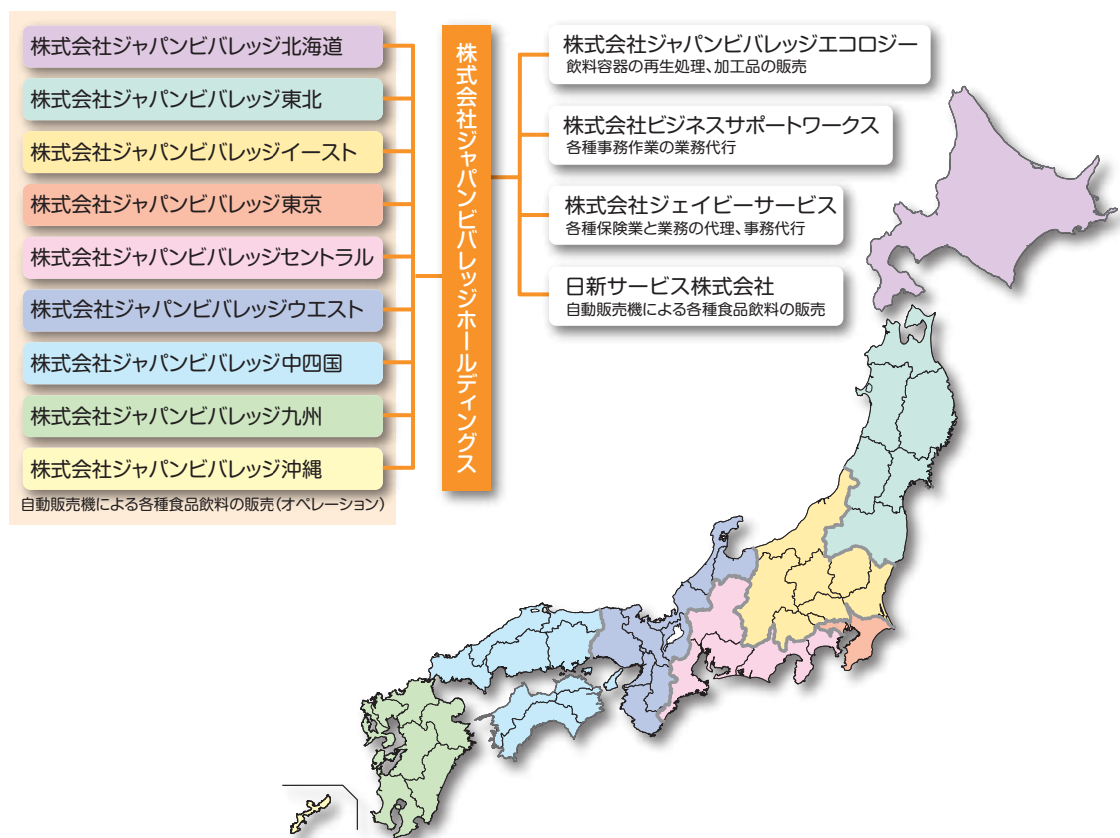


ジャパンビバレッジグループの概要

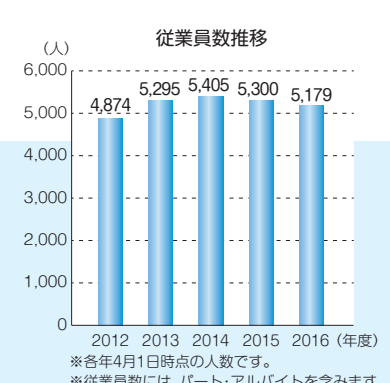
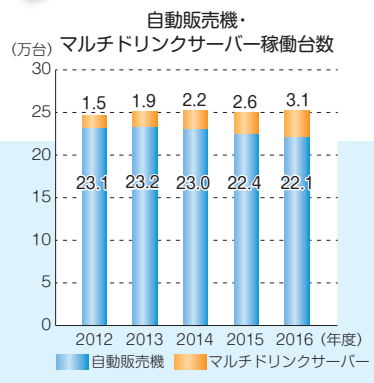
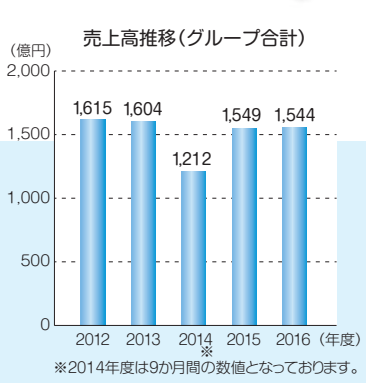
ジャパンビバレッジホールディングスの事業概要

社名 株式会社ジャパンビバレッジホールディングス
 本社 東京都新宿区西新宿一丁目24番1号 エステック情報ビル
 創業 1958年7月 ※組織改編に伴い、2010年7月ジャパンビバレッジホールディングスを設立
 資本金 1億円
 事業内容 グループ全体の経営戦略の策定・推進
 自動販売機による各種食品飲料の販売

ジャパンビバレッジグループ



ジャパンビバレッジ
グループの概要



お客様や地域社会、従業員のために

自動販売機オペレーターNo.1として

ジャパンビバレッジグループは1958年の創業以来、自動販売機専門オペレーターとして、魅力ある商品と最高のサービスを通じて皆様に潤いを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造する事を理念に事業活動を続けてまいりました。日頃よりジャパンビバレッジグループをご愛顧いただいております皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

現在は、全国で自動販売機はもとよりマルチドリンクサーバーおよびコーヒーマシンによるリフレッシュ空間のトータルサポート、企業様や複合ビルなどでの有人売店の運営も行っております。どんな場所でも、どんな時代でも、人のそばには飲み物があります。皆様に美味しく、質の高い飲み物を提供する

ため、私たちは自動販売機オペレーターNo.1として、今後も事業を展開してまいります。

最高の品質と持続可能な社会をめざして

近年、ジャパンビバレッジグループは、主要の自動販売機オペレーター事業のほか、マルチドリンクサーバーやコーヒーマシンなどを扱うリテール事業にも力を入れています。昨年は新たにオリジナルのコーヒーマシン「Café Meister」を開発いたしました。コーヒーマシンにはめずらしいコーヒーミルや円錐形ドリッパーなどの機能を搭載しています。また、環境面にも配慮しており、省エネモードや保温プレートの自動off機能が付いた機械になります。多様な機能を搭載しており、他の機械と比べ一歩先を行く仕様に仕上がっていると自負しております。オフィスで



るおいのある未来を築きます

過ごす時間の中で皆様に活用いただけたら幸いです。

また、2003年に設立した飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」では、関東圏で日々回収している缶・ビン・ペットボトルのリサイクルを行っております。本工場は、皆様にリサイクルについて知っていただくため工場見学を積極的に実施するほか、出前授業などの環境教育の場も提供しています。リサイクルのような静脈産業はあまり目立たない活動にはなりますが、継続して地道に活動していくことで持続可能な社会に貢献することが大切であると考え、これからも取り組んでまいります。

一人ひとりと向きあうことが大切であると考えています。そのために、昨年度より全国各支店の運営体制の強化を図っています。

また、直接お客様と向き合う従業員の「力」が重要であり必要不可欠だと考えています。従業員は企業の重要な経営資源です。現在、経営の大きな柱として「健康経営」を掲げています。従業員の心身の健康と仕事のやりがいを両立させて、その相乗効果で企業の成長を実現してまいります。

今後も末永いご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お客様に支持される会社になるために

ジャパンビバレッジグループが今後も自動販売機オペレーターNo.1であり続けるためには、お客様

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス

代表取締役社長 及川 剛

経営理念

私たちは、魅力ある商品と最高のサービスを通じて人々に潤いを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造します。

モットー

1. 「いちばん」を大切にします。

業界No.1のサービスと業績を目指します。

2. 「もっと」を大切にします。

明日はどうすれば、今日よりもっとよくなるかを考え、行動します。

3. 「ちゃんと」を大切にします。

ちゃんとした管理・サービス・行動により高品質を維持し、信頼と安全をお届けいたします。

4. 「やさしさ」を大切にします。

環境にやさしく、地域社会に歓迎されるよう努力を惜しみません。

5. 「あなた」を大切にします。

喜びの創造に向け、「活き活き」とした魅力ある職場をつくります。

ジャパンビバレッジグループ環境方針

制定：平成12年 8月 1日
改訂：平成28年12月26日

基本理念

ジャパンビバレッジグループは、地球環境が尊い資産であることを認識し社会に貢献する企業であり続けるために、事業及び社員一人一人の行動を通じ、あらゆる面での環境保全を積極的に推進し、潤いと喜びに満ちた持続可能な社会の創造を目指します。

基本方針

我々は、自動販売機・リテール機による各種食品飲料の販売において、環境に配慮した「グリーン・オペレーション」を基本テーマに掲げ、事業活動に伴う環境への負荷低減を目指し、以下の方針に基づき環境保全活動を行います。

1. ジャパンビバレッジグループの事業活動、商品、サービスに関わる影響を常に認識し、事業運営に即した環境目標を設定し、定期的に見直し環境汚染の防止に努めると共に継続的に改善します。
2. 環境関連法令及びジャパンビバレッジグループが同意した、その他の要求事項を順守します。
3. 環境に関する社内研修を繰り返し実施して、全従業員のレベルアップを図りお客様の環境保全活動の一助となるように努めます。
4. 重点的に取り組む内容については、以下のとおりとします。
 - ① 自動販売機・リテール機による環境負荷を低減し、地球温暖化防止を推進します
 - ② 車輻に関わる環境負荷を低減し、地球温暖化防止を推進します
 - ③ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）に努めます
 - ④ 事業所において水を大切に取扱い、自然界における水の健全な循環に貢献します
 - ⑤ 事業所におけるエネルギー使用の効率化に努めます
5. 環境保全を行なう地域・企業・団体等の活動に協力します。また利害関係者に対しても、環境保全活動の理解と協力を要請し、積極的な情報開示に努めます。

本環境方針は、組織で働くまたは組織のために働くすべての人々に、周知すると共に一般に開示します。

ジャパンビバレッジグループの事業紹介

ジャパンビバレッジグループは、業界No.1の自動販売機オペレーターとして、環境のテーマに「グリーン・オペレーション」を掲げ、うるおいと環境に配慮したサービスをお客様にお届けしています。

カップ 自動販売機事業

人気のレギュラーコーヒーを提供できるカップ自動販売機。スリムなデザインで人気の「Smart Café」は、オリジナルブレンドの豆で美味しいコーヒーを提供、また省エネにも配慮したジャパンビバレッジの

オリジナルカップ自動販売機です。

商品構成を季節ごとに変更することで、バリエーション豊かなカップ飲料を皆様に提供します。



カップ機



Smart Café®

リテー

オフィスでの休憩に欠かせないマルチドリンクサーバー（自動粉末給茶機）やコーヒーマシンを取り扱っています。マルチドリンクサーバーはお茶、コーヒー、紅茶、機能的飲料などバラエティ豊かな商品をラインナップ。また、今年から



MDS-K13

グリーン・オ

ル事業

本格展開しているコーヒーマシン「Café Meister」は、本格ミルと円錐型ドリッパーを採用、今までにない本格ドリップが楽しめます。どちらもオフィスに適したデザインで、ジャパンビバレッジオリジナルとなっています。



パッケージ 自動販売機事業

春・夏・秋・冬の季節に合わせた各種飲料メーカーの人気商品を取りそろえ、お客様先の要望と業態に合わせた商品構成を提案しています。

また、食品の自動販売機をあわせて設置することで、オフィスや職場に休憩スペースを実現することも可能です。



ペレーション



お客様にうるおいを 業界「いちばん」のサービスで お客様に「もっと」満足いただけ

自動販売機・リテール機

ジャパンビバレッジは、オリジナルのコーヒーマシン等の提供、自動販売機の省エネおよび自動販売機のトータルコーディネートを通じて、お客様先の設置環境に応じたご提案をいたします。

Café Meister® 誕生

ミル挽き機能

コニカル式の刃を持つコーヒーミルを搭載。コーヒー豆の風味を損なわずに豆を挽く事のできる本格的なグラインド方式です。



挽きたて、淹れたてで今までにない
本格ドリップの一杯を。

Café Meisterはジャパンビバレッジ
オリジナルのコーヒーマシンです。

ミル挽き機能を搭載し、コーヒー豆と挽き豆の
どちらからでもコーヒーの抽出ができます。

蒸らし機能

全体を均一に湿らせることで、偏った湯の通り道を作らず、均一に抽出ができるようになります。また、湯に触れる面積が増えて浸透しやすくなり、成分がしっかりと抽出されます。



円錐型ドリッパー

円錐型ドリッパーは、扇形と比較してコーヒーの粉の層が厚くなり、お湯が滞留せずに流れ落ちます。

これによりネルドリップのような
味わいのコーヒーを抽出することができます。



オリジナルカップホルダー

カップホルダーをジャパンビバレッジオリジナルでデザイン・作成しました。インサートカップ・紙カップの両方が使え、会議や接客時にも使える便利なホルダーです。



Café Meister® 環境面の配慮

省エネモード設定

時間・曜日で省エネモード(ECOモード)のタイマーを設定することができます。

ECOモード設定(18:00~8:00)にした場合、消費電力量を通常状態より約20%削減することができます。

(算出条件:1日2回、9時および15時に10cup抽出した場合)



省エネモード画面

特集 1-1

るように努めます



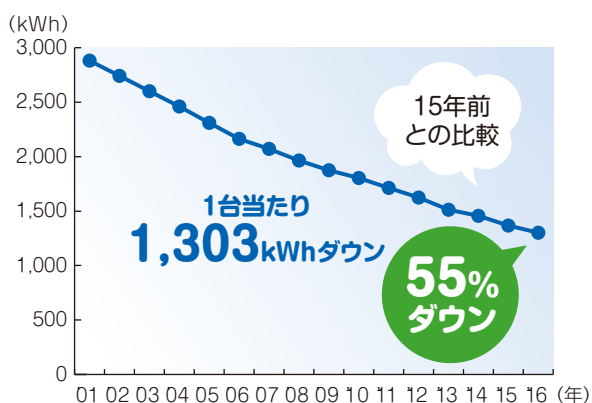
自動販売機における省エネの取組み

ジャパンビバレッジが取り扱う自動販売機の1台当たりの平均消費電力量は、15年前と比較して55%減少しています。減少している要因は、ヒートポンプ機の導入や真空断熱材の使用、照明のLED化などによる機内の改良などによるものです。



自動販売機内部の照明のLED化

自動販売機 1 台当たりの平均消費電力量 (稼働全台数)



Smart Café®
年間消費電力量
849kWh/年

コンビ機 (30セレクション: 2016年製)
年間消費電力量
565kWh/年

特集
1・1

担当者の声

Café Meisterで美味しいコーヒーを

皆様に本格ドリップの一杯を一。そんな思いからCafé Meisterの開発がスタートしました。開発のポイントは、「どのコーヒーマシンよりも美味しいコーヒーの抽出を実現する」ことでした。そのために多くのこだわり機能を搭載しました。コニカル式のミルで挽き立ての香りを演出するだけでなく、抽出にも円錐型のフィルターを採用しました。また、蒸らし機能でコーヒーの香り、コク、味わいを引き出しています。環境面では、省エネモードを設定し消費電力量をおさえる機能も搭載しました。

こだわりがたくさん詰まったCafé Meisterで淹れたコーヒーを皆様に楽しんでいただけたらと思っております。

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス 商品企画部 課長 山田 耕





お客様にうるおいを 業界「いちばん」のサービスで お客様に「もっと」満足いただけ

グリーン・オペレーション・自動販売機メンテナンス

ジャパンビバレッジは環境に配慮した「グリーン・オペレーション」を基本テーマに掲げ、事業活動に伴う環境負荷低減を目指します。

ジャパンビバレッジの「グリーン・オペレーション」

ジャパンビバレッジは自動販売機オペレーターNo.1として環境への取組みもNo.1でありたいと考えています。お客様に安心して自動販売機をご利用いただくために、自動販売機に関わる「提案」、飲料の「販売」、飲料空容器の「回収」「適正処理」「資源再生」まで責任をもって対応しています。

お客様のニーズにあわせた各種自動販売機をご提案します。



安全運転・エコドライブ
でお客様先を訪問。
使用する車輛は、低公害車・ハイブリッド車を計画的に導入しています。



回収した飲料空容器は、「リサイクル・プラザJB」をはじめ、全国のネットワーク企業でリサイクルを実施します。

03

適正処理
資源再生

Green
Operation

グリーン・オペレーション

01

提案
販売

回収

02



自動販売機の横に設置している「回収ボックス」の中の飲料空容器をきちんと回収します。

営業担当者の声

お客様に「もっと」喜んでいただくために

「お客様は何を求め、何を期待されているのか?」を知ることが大切だと考えて日々営業活動を行っております。その中で、環境関連についてのご質問・ご要望をいただくことが多くあります。あるお客様が「ジャパンビバレッジの環境への取組み」について興味をお持ちでしたので、回収後の飲料空容器のリサイクルについて紹介するため、リサイクル企業の工場へご案内しました。結果、当社のリサイクルへの取組みに対して高い評価をいただくことができました。その後は、お客様先の環境活動における適正分別や、社員様向けのリサイクルをテーマとした講演会の実施などにも繋がりました。

今後もお客様に喜んでいただけることを創造し、環境営業に取り組んでいきます。

株式会社ジャパンビバレッジウエスト 京都支店 営業担当係長 藤原 浩 充



るように努めます



自動販売機のメンテナンス

定期的に自動販売機のサニテーションやメンテナンスを行う一方、自動販売機の故障・修理が発生した場合には、その内容に応じて担当ルートセールスもしくはメンテナンス担当者が迅速に対応し、復旧に努めます。

各社で行われるメンテナンス会議では、自動販売機の故障要因の分析・対策や、技術講習、情報共有などを実施し、再発防止を図っています。



自動販売機のメンテナンスの様子

自動販売機調整技能士の取得

自動販売機の技能と知識に関する資格として自動販売機調整技能士(国家資格)があります。ジャパンビバレッジでは、主にメンテナンス担当者、ルートセールスが資格を取得しており、自動販売機の専門的知識が必要なメンテナンス担当者は1級取得を目指して研鑽を積んでいます。

各社にいる教育担当者は、資格取得のサポートとして講習会を各地で実施し、合格に向けて指導を行っています。

資格を取得することで、自動販売機の知識習得および業務のスキルアップを図っています。



自動販売機調整技能士講習会

自動販売機調整技能士取得者(2016年現在)

特級**20**名 1級**136**名 2級**217**名

メンテナンス担当者の声

メンテナンス担当として心掛けていること

自動販売機のメンテナンス担当として私が心掛けていることは、「故障をどれだけ未然に防ぐ事が出来るか」ということです。自動販売機が故障すれば、お客様にご迷惑をお掛けします。安定して変わらない日常を提供し続けることが、自分の役割だと思っています。そのために、定期メンテナンスを徹底して実施しています。さらに、2016年には自動販売機調整技能士1級を取得し、この資格の取得は機械構造を理解する上で大切なことだと感じました。

全ての自動販売機を一人では維持できません。日常点検作業を行うルートセールスにもわかりやすく説明・指導するようにしています。これらの取組みが、故障しない自動販売機の維持に繋がっていくと考えています。

株式会社ジャパンビバレッジ中四国 山口支店 メンテナンス担当主任 安富 義博





循環型社会にうるおいを 飲料空容器は「きちんと」回収され 資源に生まれかわっています

ジャパンビバレッジは、お客様が回収ボックスに入れていただいた飲料空容器を責任をもって回収し、資源再生・適正処理を行っています。また、各拠点から排出される廃棄物についても同じく適正処理を行っています。

飲料空容器のリサイクル・適正処理

回収した飲料空容器は各支店に持ち帰り、効率的に資源循環を行っています。自社工場「リサイクル・プラザ JB」を中心とした、全国のリサイクル・廃棄物処理企業とのネットワークにより、飲料空容器の資源循環を推進しています。

各拠点では、排出されるすべての廃棄物・資源物について「廃棄物・資源物処理フロー図」を作成し、リサイクル・適正処理の見える化を図っています。飲料空容器がどこに運ばれ、どのようにリサイクル・適正処理されているかといった情報を、お客様にも提供しています。



飲料空容器の回収



種類	処理	収集事業者	回収	中間処理業者	処理方法	材料	最終処理業者	処理方法	再生製品	再生品
PET	リサイクル	株式会社 株式会社	回収	株式会社	リサイクル	PET	株式会社	リサイクル	再生PET	再生PET
紙	リサイクル	株式会社	回収	株式会社	リサイクル	紙	株式会社	リサイクル	再生紙	再生紙
プラスチック	リサイクル	株式会社	回収	株式会社	リサイクル	プラスチック	株式会社	リサイクル	再生プラスチック	再生プラスチック
ガラス	リサイクル	株式会社	回収	株式会社	リサイクル	ガラス	株式会社	リサイクル	再生ガラス	再生ガラス
金属	リサイクル	株式会社	回収	株式会社	リサイクル	金属	株式会社	リサイクル	再生金属	再生金属

廃棄物・資源物処理フロー図

商品廃棄本数の削減

廃棄物削減の取組みの一環として、ISO14001の環境目標に商品廃棄本数の削減を掲げて取組んでいます。商品の破損や劣化を減らすため、各部署で自動販売機の適正な商品管理に取組んでいます。



適正商品管理

担当者の声

リサイクル・適正処理を推進するために

日々取り扱う飲料空容器、廃棄物は、リサイクルの推進を心掛けています。飲料空容器のリサイクルは、回収ボックスに入れていただく際の「分別」がとても重要です。お客様にリサイクルの取組みについてご説明し、分別へのご理解・ご協力をいただいています。また、従業員には、朝礼や同乗教育時に分別回収の教育を行っています。

さらに、委託しているリサイクル・廃棄物処理企業の現地確認を年1回行い、法令を順守するほか、情報共有も実施し、資源循環に関する最新の情報を得られるよう心掛けています。

これからもお客様、リサイクル・廃棄物処理企業と協働でリサイクル・適正処理に取り組みたいと思っています。

株式会社ジャパンビバレッジイースト 諏訪支店 ルートマネージャー 小松 文敏





飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」

リサイクル・プラザJBは、自動販売機で販売した後に発生する缶・ビン・ペットボトルをリサイクルする工場です。循環型産業の構築を目的とし、2003年5月に設立し、今年稼働15年目に入りました。



リサイクル・プラザJB外観



手選別ライン

リサイクル実績

リサイクル・プラザJBでは、各飲料空容器を次のようにリサイクルしています。

2016年度処理量 **7,218t**



缶から加工されたアルミペレット



手選別された透明ビン・茶ビン



ベール品(減容圧縮されたペットボトル)

缶

金属加熱炉にてペレットに加工し製鉄会社へ出荷

ビン

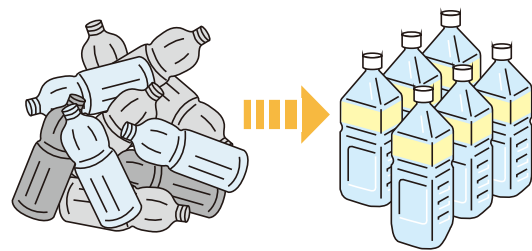
色別に手選別しガラスリサイクル企業へ出荷

ペットボトル

手選別後ベール品に加工しペットボトルリサイクル企業へ出荷

ペットボトルのリサイクル

2016年度よりリサイクル・プラザJBのペットボトルベール品は協栄産業株式会社様に出荷しています。協栄産業様のボトルtoボトルのリサイクルにより、使用済みペットボトルが新たな飲料用ペットボトルに生まれかわります。



新たに見学者用モニターを設置

リサイクル・プラザJBはどなた様でも1名様からご見学いただけます。

2016年度は、見学者の皆様にご覧の工場工程をより詳しく見ていただけるように、新たにモニターを設置しました。皆様是非一度見学にお越しください。



リサイクル・プラザJB内のモニター

リサイクル・プラザJB
工場見学のお問い合わせ

お申込み・お問い合わせは、こちらから

ホームページ <http://www.jbinc.co.jp/ecology/plaza/> 電話 048-652-6671



地域社会にうるおいを

「やさしさ」を持って地域社会を

子どもや豊かな社会のために、ジャパンビバレッジは、環境教育普及啓発活動や社会貢献などに積極的に取り組んでいます。

環境教育活動

リサイクル・プラザJB工場見学

リサイクル・プラザJBでは、子どもから大人までどなた様でも1名様から見学を受け付けています。実際にご自身の目でリサイクルの現場を見て感じていただくことができます。

2016年度実績

230組 1,406名



工場見学の様子

環境出前授業

「埼玉県環境学習応援隊」に登録し、小学校・中学校への環境出前授業を行っています。授業では、缶・ビン・ペットボトルのリサイクル工程を紹介するほか、分別体験ゲームやリサイクルクイズを実施し、楽しみながら学べるように工夫しています。

2016年度実績

小学校4校 中学校1校



環境出前授業の様子

スポーツを通じて社会に貢献

ジャパンビバレッジレスリング部

ジャパンビバレッジレスリング部は、1978年の創設以来、日本のレスリング選手の育成とスポーツ界の発展に努めてまいりました。選手活動を支援し、オリンピックや国際大会での活躍を応援し、感動を共有することにより、日本人の心の絆を深められるように活動しています。



川井梨紗子選手



伊藤史織選手



浜口京子選手

●所属選手

かわい りさこ
川井 梨紗子 58kg級

2016年のリオ五輪に63kg級へ出場し金メダルを獲得。58kg級に階級を戻し、2017年4月よりジャパンビバレッジレスリング部に所属し、社会人デビュー。

いとう しおり
伊藤 史織 48kg級

2016年5月の全日本選抜でジャパンビバレッジレスリング部所属として社会人デビューし、全日本強化指定選手として練習に励んでいます。

はまぐち きょうこ
浜口 京子 75kg級

14歳からレスリングを始め、重量級のトップ選手として活躍し、全日本選手権・世界選手権等で優勝を重ね、3大会連続五輪出場。

豊かにします



JB環境ネットワーク会による環境関連の知識・情報等の普及

シンポジウムの開催

2009年より沖縄にてシンポジウムを開催しています。「美しい沖縄・美しい地球・美しい未来への架け橋」をテーマに掲げ、沖縄の環境保全活動の紹介・発表や有識者による基調講演を行っています。環境省をはじめとする行政機関、小学校・中学校、一般の方々にご参加いただき、広く情報の普及を図っています。また、本会では環境保全活動への支援として小学校・中学校に感謝状と支援金を贈呈、有効に活用いただいています。



シンポジウムの様子



環境保全活動の発表

作文コンクールの開催

リサイクル・プラザJBを見学いただいた小学生を対象に、「ぼくとわたしのリサイクル」作文コンクールを開催しています。多くの皆様にご参加いただくため夏休み期間に開催し、リサイクルへの考えや資源の大切さなど、見て感じたことを作文にいただいています。

応募いただいた作文は厳正な審査を行い、受賞者を決定し、表彰を行っています。



表彰式



作文コンクールチラシ

【開催期間】2016年7月16日～9月3日

【後援】環境省関東地方環境事務所、埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会、埼玉新聞社

【2016年度応募数】271通

特集 3

JB環境ネットワーク会とは

自動販売機で販売された飲料の空容器回収から、リサイクルおよび適正処理による循環型産業の構築と低炭素社会の実現に向け発足した、飲料事業者17社で構成する任意団体です（2009年1月発足）。

環境関連の知識・情報等の普及を図り、あらゆる環境保全活動を推進しています。

JB環境ネットワーク会 会員企業 17社	キーコーヒー株式会社	株式会社トールコーヒー
アサヒ飲料株式会社	キリンビバレッジバリューベンダー株式会社	ネスレ日本株式会社
アサヒグループ食品株式会社	サントリービバレッジソリューション株式会社	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
味の素ゼネラルフーズ株式会社	株式会社ジャパンビバレッジホールディングス	三井農林株式会社
大塚ウエルネスベンディング株式会社	東罐興業株式会社	株式会社明治
カゴメ株式会社	凸版印刷株式会社	UCC上島珈琲株式会社

(五十音順、2016年12月現在)

[事務局] 株式会社ジャパンビバレッジエコロジー

従業員にうるおいを 「あなた」を大切に 魅力ある職場をつくります

ジャパンビバレッジは、従業員にとって働きたい会社、そして社会から必要とされる会社を目指し、ワーク・ライフ・バランスの取組みや地域清掃活動を行っています。

ワーク・ライフ・バランスの取組み

ジャパンビバレッジは、従業員の心身の健康と仕事のやりがいを両立させることが企業の活力を更に上げると考え、ワーク・ライフ・バランスを重視しています。

健康的で生き活きとした働きやすい職場環境をつくるために、ストレスチェックを実施したり、閉門時間を設定したりすることによりプライベート時間が確保できるよう努めています。また、従業員が人生の様々な段階に応じて多様な生き方を選択・実現できるよう、仕事と家庭の両立を支援する制度の整備に取り組んでいます。今後も従業員が輝く企業を目指し、取組みを推進します。



ストレスチェックの様子



プライベート時間の確保

きれいなまちで仕事する「地域清掃活動の実施」

ジャパンビバレッジは、各地域で清掃活動に取り組んでいます。清掃活動の内容は、事業所周辺のゴミ拾い、地域団体主催の清掃イベントへの参加など、部署によって様々です。今後も事業所近隣の環境美化や地域社会に貢献するために活動を継続していきます。



さいたま市ごみゼロキャンペーン市民清掃活動への参加
(2016年5月)
株式会社ジャパンビバレッジエコロジー



まるごと沖縄クリーンビーチへの参加
(2016年6月)
株式会社ジャパンビバレッジ沖縄



事業所近隣の清掃活動(2016年10月)
株式会社ジャパンビバレッジイースト
新潟支店

TOPICS

第13回デザート・スイーツ&ドリンク展に出展

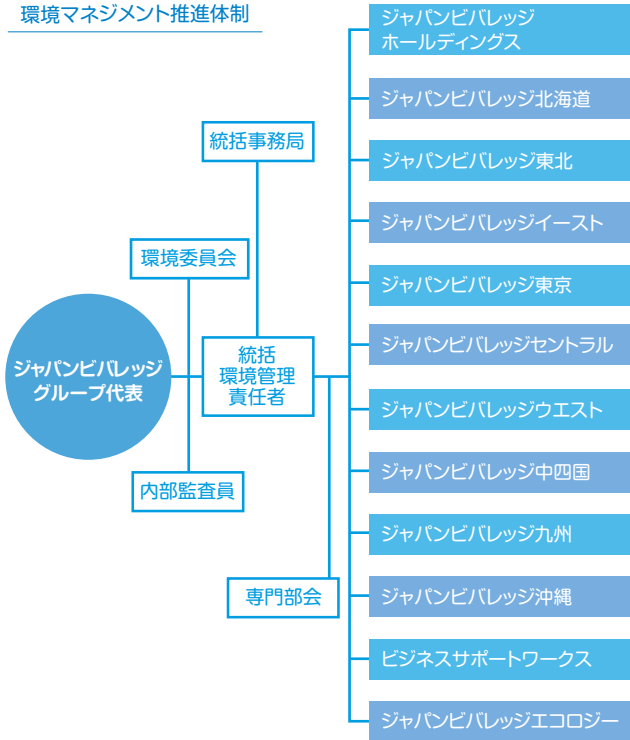
日本最大規模の展示会である「デザート・スイーツ&ドリンク展」に出展しました。ジャパンビバレッジは飲料部門で参加し、Smart Café、Café Meisterなどを展示し、試飲いただきました。お客様からは「オフィス内で身近な自動販売機・リテール機で高水準な1杯を楽しめる」「デザインが良い」などの反響がありました。4月13～15日の3日間の開催で、ブースには約1,000名の方にお越しいただき、広くアピールすることができました。



環境マネジメント&パフォーマンス報告

環境マネジメントシステム

ジャパンビバレッジの環境マネジメントシステムを継続的に推進するため、組織、役割および責任を定めています。現在は、グループ12社の本社・支店の合計121サイトで運用を行っています。



※ジェイビーサービス、日新サービスは除く

ISO14001定期審査

ジャパンビバレッジはISO14001の定期審査を9月7～9日の日程で実施しました。121サイトのうち13サイトが審査を受け、認証継続が決定しました。



ISO14001定期審査の様子



審査登録証

法令順守 リスクアセスメントの実施

労働安全衛生法が改正され、2016年6月1日より施行されました。今回の改訂では、事業場におけるリスクアセスメントが義務づけられました。

ジャパンビバレッジが取り扱う化学物質においてはすべてリスクアセスメントを行い、実施と周知を行っています。また、機材部主催による「食品安全・品質管理研修」において、リスクアセスメントについての研修も実施しました。



食品安全・品質管理研修

法令順守 防災関連

消防法順守事項として、各サイトにて消防機器点検、防火管理者の選任を行っています。また、万が一災害が発生した場合に備えた防災教育を行うことで、災害発生時の被害を最小限に抑えられるよう取り組んでいます。



防災教育の様子

環境マネジメント&パフォーマンス報告

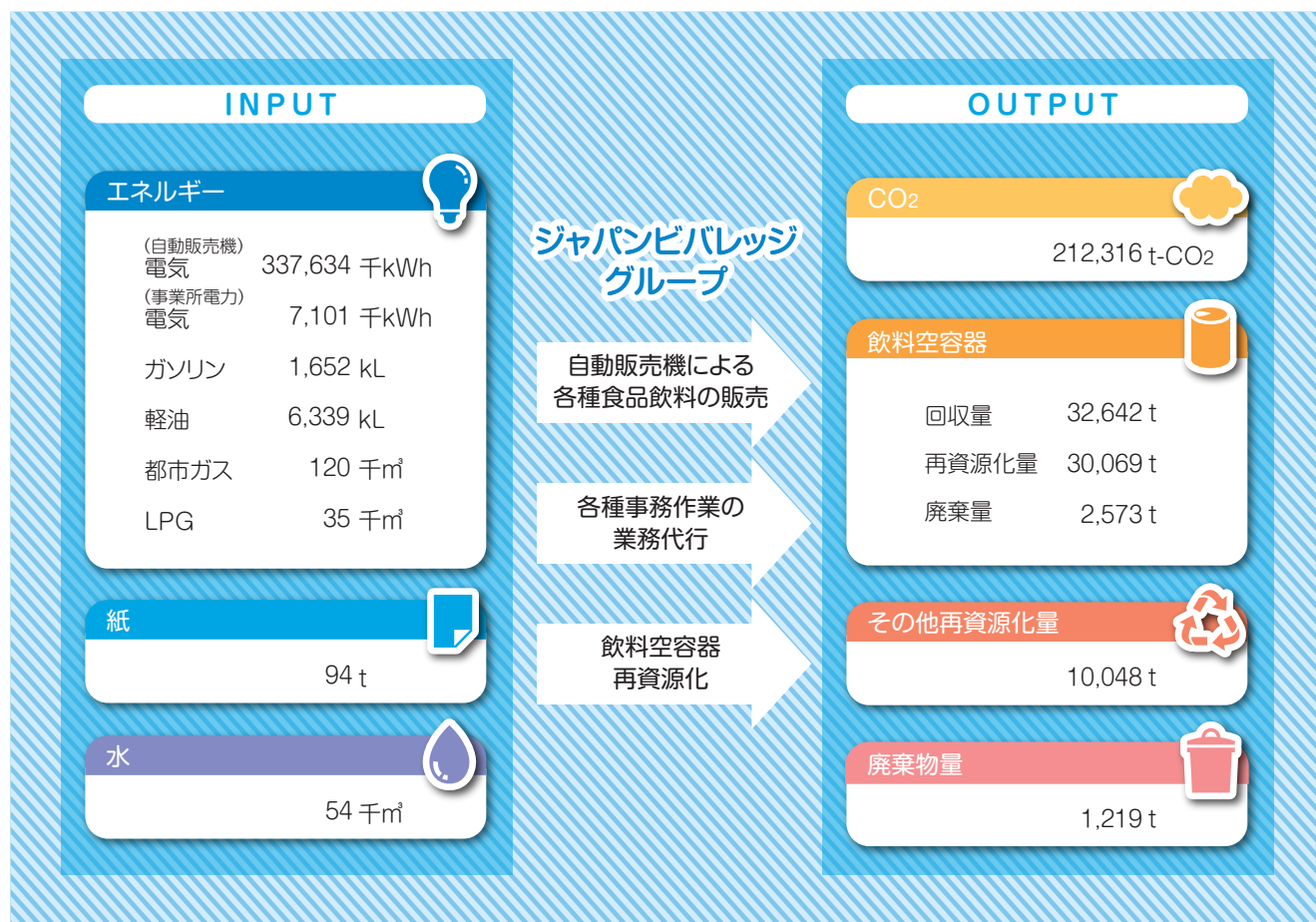
環境目標と実績

ジャパンビバレッジは、「グリーン・オペレーション」をテーマに掲げ、環境活動を行っています。

2016年度は、自動販売機・リテール機など1台あたりのCO₂排出量の削減、廃棄物の削減、事業所内の省エネについて重点的に取組むため以下の3つを環境目標に掲げ取組みました。自動販売機などのCO₂排出量の削減及び事業所内の省エネの実施については目標を達成しましたが、商品廃棄本数の削減については未達成となりました。実施内容を改善し、2017年度は目標達成となるよう取組んでまいります。

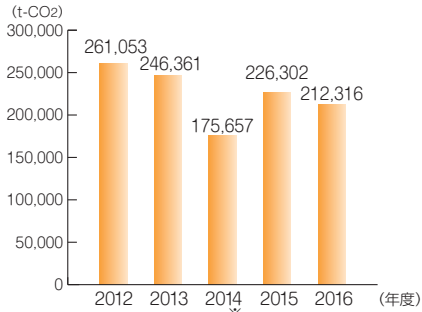
項目	目標値	目標達成率	評価
① 自動販売機・マルチドリンクサーバー・コーヒーマシン1台あたりにかかるCO ₂ 排出量の削減	2015年度比5%削減	102.7%	○
② 商品廃棄本数の削減	2015年度比10%削減	90.1%	×
③ 所内省エネの実施 (各部署にて 省エネ実施事項を定め取組む)	グループ全体の 消費電力量を 2015年度比1%削減	101.0%	○

事業活動における資源投入量と排出量



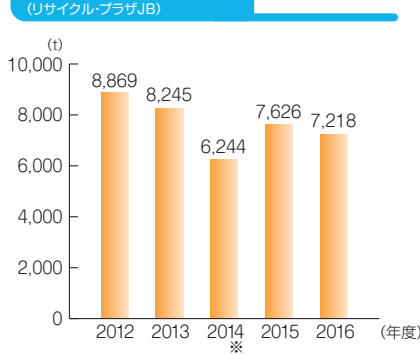
(二酸化炭素の算出方法について)「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく換算係数を適用

CO₂排出量推移

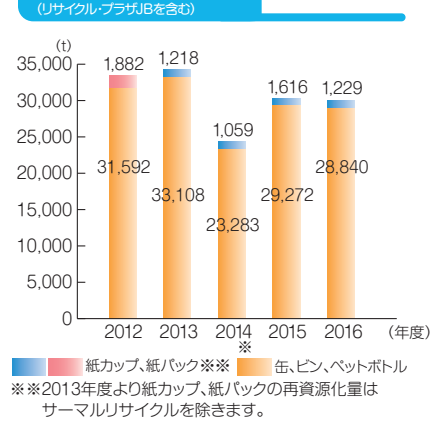


※2014年度は9か月間の数値となっております。

再資源化処理量推移

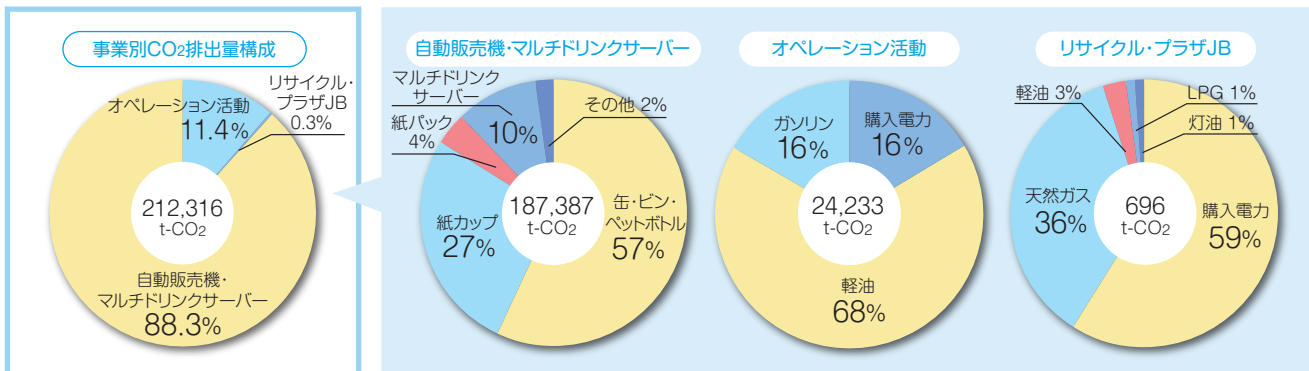


再資源化処理量推移



※2013年度より紙カップ、紙パックの再資源化量はサーマルリサイクルを除きます。

2016年度事業別CO₂排出量構成比



第三者意見



名古屋大学大学院環境学研究所附属
持続的共発展教育研究センター
特任准教授 杉山 範子 氏

2016年11月にパリ協定が発効し、世界は低炭素社会へ向けて大きく舵を切りました。パリ協定に批准した日本にもCO₂大幅削減の本気の取組みが求められます。ジャパンビバレッジは、CO₂排出量の88%を占める自動販売機事業における排出削減について、重点目標として自動販売機など1台当たりの削減目標を掲げ、2016年度はこれを達成しました。自動販売機1台当たりの消費電力量は15年前と比較して55%の削減を遂げています。これは、様々な環境技術を積極的に

採用し省エネ化に取り組んだ成果でしょう。しかし、自動販売機の総台数が増えると単体の省エネ効果は相殺される「リバウンド効果」もあります。今後の事業活動に、再生可能エネルギーの電力を選択する、自社でエネルギーの「地産地消」をすることも検討してはいかがでしょうか。

私たちが消費するモノやサービスについて「来し方行く末を知る」ことは、持続可能な社会づくりの第一歩であると思います。ジャパンビバレッジは、顧客にも、飲料の空容器がどこに運ばれてどう処理されるのかについて情報提供しており、それを通じてユーザー側に新たな環境行動をもたらすという波及効果を得ています。「知る」場としてリサイクル工場を公開していることも素晴らしい取組みです。このように、事業活動や製品の情報を伝え示すことで、サービスを受ける側の行動や選択を変えていくこと、環境負荷の少ない方向へ転換していくことは、ますます求められるでしょう。そのためにも、事業をライフサイクルで評価し情報発信することが重要です。

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標12には、2030年までに「持続可能な生産消費形態を確保する」ことが掲げられています。ジャパンビバレッジの基本テーマである「グリーン・オペレーション」に、この視点を取り入れ、長期的に事業活動をステップアップさせていくことも期待しています。

PROFILE

名古屋大学大学院環境学研究所博士後期課程修了後、同大学院環境学研究所助教、特任准教授等を経て2016年4月より現職。博士(環境学)。地域気候政策・エネルギー政策の確立に向けた研究を行っている。これまでに携わった研究プロジェクトに「国際環境人材育成プログラム(NUGELP, 2012~2013年)」、「レジリエントシティ政策モデル」の開発とその実装化に関する研究(環境省環境研究総合推進費, 2013~2015年)等がある。NPO法人気象キャスターネットワーク理事。気象予報士。



「Japan Beverage Report 2017」を お読みいただき、ありがとうございました。 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

本レポートは、ジャパンビバレッジグループの理念と事業の現状、
および環境の取り組みをステークホルダーの皆様にはわかりやすく
お伝えすることを目的に発行しています。

皆様からご意見、ご感想をいただき、
活動の内容や本レポートをより良いものにしていきたいと考えております。
つきましては、お手数ですが裏面のアンケートにご記入の上、
ファックスにてお送りいただくと幸いです。

2017年5月

本レポートに関するお問い合わせ先

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー

〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目272番地5

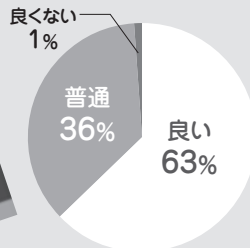
TEL:048-651-1166 FAX:048-651-6611

ホームページ <http://www.jbinc.co.jp>

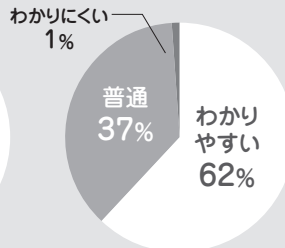
「Japan Beverage Report 2016」のアンケート結果



全体評価



内容のわかりやすさ



ご意見(一部抜粋)

- もう少し自動販売機に係る具体的な例があれば知りたいです。
- これまでの活動に合わせて更に新しいサービスについても考えていただくと良いと思います。
- 廃棄物・リサイクルの内容など興味深く、面白かったです。

ご意見をふまえ、
内容をよりわかりやすくするため
右記の通り改善を図りました

- ◎企画・運営・営業のそれぞれの部門で具体的に取組んでいる内容を担当者の声として掲載しました。
- ◎環境活動だけではなく、現在社内でも実施しているワーク・ライフ・バランスの取り組みについても掲載しました。
- ◎自動販売機のメンテナンスについて、その仕事や資格取得について掲載しました。

「Japan Beverage Report 2017」へ 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

Q1 本レポートを読んでどのように感じられましたか。

- 全体評価 …………… 良い 普通 良くない
内容のわかりやすさ …………… わかりやすい 普通 わかりにくい

Q2 本レポートのなかで関心のあった内容をお聞かせください(複数選択可)。

- ジャパンビバレッジグループの概要(p2)
 トップメッセージ(p3-4)
 ジャパンビバレッジグループの事業紹介(p5-6)
 特集1 お客様にうるおいを 業界「いちばん」のサービスで
お客様に「もっと」満足いただけるように努めます(p7-10)
 特集2 循環型社会にうるおいを 飲料空容器は「きちんと」回収され
資源に生まれかわっています(p11-12)
 特集3 地域社会にうるおいを 「やさしさ」を持って地域社会を豊かにします(p13-14)
 特集4 従業員にうるおいを 「あなた」を大切にし魅力ある職場をつくります(p15)
 環境マネジメント&パフォーマンス報告(p16-18)
 第三者意見(p18)

Q3 ジャパンビバレッジグループの取組みについてのご意見・ご感想、良い点や改善すべき点があればお書きください。

Q4 どのようなお立場でお読みになりましたか。

- お客様 近隣住民の方 お取引先 政府・行政関係 教育・研究関係
 金融・投資関係 NGO・NPO 報道機関 企業のCSR・環境担当者
 ジャパンビバレッジグループの社員・家族 学生 その他()

Q5 あなたのプロフィールについてお聞かせください。

- 年齢 …………… 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
性別 …………… 男性 女性

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー 環境部

FAX:048-651-6611



ジャパンビバレッジグループ

ホームページ <http://www.jbinc.co.jp>

●発行・お問合わせ先

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー

〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目272番地5

TEL:048-651-1166 FAX:048-651-6611



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用した FSC 認証用紙を使用しています。